

練馬区立小中一貫教育校推進委員会（第14回） 要点記録

開催日時	平成22年8月30日(月) 14時00分～14時40分	
会場	大泉学園桜中学校2階 会議室	
出席者	委員	本木薫、中島広美、諏崎啓美、伊藤照代、大和田隆彦、中田清、相馬功紀、坂口節子、時政千恵子、坂田美由紀、木下川肇、伊藤隆、元木靖則、室地隆彦（敬称略）
	事務局	新しい学校づくり担当課、教育指導課
	その他	教育出版
傍聴者	0名	
案件	1 小中一貫教育校の統一校章の検討	

委員長

第14回小中一貫教育校推進委員会を開催する。

案件に入る前に、小中一貫教育校の統一校名について事務局から報告をお願いする。

事務局

推進委員会で協議いただいた小中一貫教育校の統一校名について、6月28日の教育委員会に報告したことは前回の推進委員会でご案内したとおりである。その後、7月12日の教育委員会で協議を行い、より使いやすく分かりやすい校名という観点で「練馬区立小中一貫教育校 大泉桜学園」に決定した。その後、8月23日の教育委員会において練馬区教育委員会の規則を改正したところである。

1 小中一貫教育校の統一校章について

委員長

小中一貫教育校の統一校章の検討を行う。事務局から資料の説明をお願いする。

事務局

資料1は、統一校章のデザイン案である。A、B、Cの3種類についてそれぞれ2案、全部で6案を示した。A案は皆様方からご意見のあった現在の桜小、桜中の桜の校章を生

かしたものである。A-1とA-2はおしべの位置と、「大泉桜」の文字が縦書きか横書きかという違いである。B案は木の年輪に重ねて9年間を表現したものである。B-1とB-2は、B-2のほうの三つの丸の大きさをより大きくした。

なお、この図案ではB-2の「桜」の文字が緑になっているが、B-1と同じ色を想定している。急いで作成した関係で色が緑になっているのでそこは訂正をお願いしたい。

C案はスパイラルのリングで成長する姿を表現している。五つのリングで表現したものがC-1の案である。また、成長する姿をトルネード、つながった形で表現したのがC-2の案である。6案いずれも、1年生から4年生、5年生から7年生、8年生から9年生の三つの発達段階を何らかの形でデザインしたものである。

資料2は前回もお配りしたが、桜の入った校章の例である。大泉高等学校の校章を付け加えた。資料3は練馬区立の小中学校の現在の校章一覧を参考までに付けた。

委員長

統一校章について、大泉学園桜小学校・桜中学校から何かあれば願います。

委員

A案とB・C案では少し雰囲気が違う。新しい学校を作り、今までにない一貫だからこそこできる教育活動を考えて進めていくので、A案だと従来のイメージから抜け出せないのではないかと考え、B-1、B-2、C-1、C-2の中から考えていくのが好ましいのではないかと思う。

委員長

本日の話し合いで小中一貫教育校の統一校章候補を絞りたいと思う。小中一貫教育校の統一校章候補について、ご質問、ご意見をいただきたい。その際、なぜその校章が良いのか、理由も併せて願います。

委員

パッと見た時にBとCがとても斬新で、とてもすてきだなという印象を持った。ただ、例えばAやCは色が入った土台にデザインされているので、バッジになった時のイメージが湧くが、B案がバッジになるとどうなるのか。

委員

仮にB案で年輪を表わす場合、色をそのまま再現する方法と、シルバーの土台に金色で文字や縁（ふち）をかたどっていく考え方がある。例えば、バッジになった時には、シルバーの土台にして緑のラインや三つの丸などを金色か何かの色に置き換えていくことも考えられる。印象はずいぶん違ってくると思う。逆に、この色を再現する場合には、七宝焼などの白いきれいな色を土台にして彩色するのではないか。

委員

皆さん、それぞれ好みがある。パッと見て、2011年、新しい時代の学校というイメージではB案が良いと思う。C-2はフルネームが入っているが、資料2を見ると例えば大泉高校は「高」だけで、学校名すべてが入っていないのが普通である。

委員

デザインC-2を中学生がつけているバッジの大きさにしたら、文字がとても小さくなるような気がする。

委員

B-2かC-1が良いと思う。標準服は紺やダークな色になると思われるので、B-2の土台が白のような感じであれば白に緑とピンクで校章が目立つのではないか。

C-1もデザイン的にかわいいと思う。B-2は、例えば白の丸の上にこのデザインが載っているものとシルバーの上に載っているものなどいろいろなバリエーションを見たい。例えば、C-1も少し色が違うだけで印象が違う。B-2とC-1に関しては、もう少し発展させたデザインも見てみたい。B-1よりは、ピンクの丸が大きいB-2のほうが良い。

委員

B案は今まで練馬区になかったような校章でとてもおもしろく斬新だと思う。ただ、B案の1と2は丸の大きさが違うが、よく見るとB-1は年輪の4本の中に丸が入っているが、B-2のほうは5本の中に丸が入っている。この違いには何か意図があるような気がするが、校章の大きさであれば区別する程の差にはならない気がする。

事務局

当初、B-1のみであったが、若干丸の部分のインパクトが弱いのではないかと思い、少し大きめのものもバリエーションとして用意した。丸が大きくなったので丸の部分が5本に引っかかる形になった。位置関係は、逆に4本のほうが良いということであれば位置を若干ずらすなど、工夫の余地はある。特に5本にかかっている、4本にかかっていることに意図があるわけではない。

委員長

B案とC案を支持する意見が多いようだが、ほかに意見はないか。

委員

B-1とB-2の違いに関して指摘があったが、年輪を延長して円にした時に、B-1は三つの丸が円の中に入るが、B-2は入らない。そこで広がりをもたせているのではないか。何本かということもあるが、一番外の円の中に入っていないというところが違うのではないか。

委員長

B-1とB-2のデザイン案の違いについて意見をいただいたが、ほかに関連した意見はないか。

委員

一番外側の年輪の線はこの延長に描くのではなく、もう一回り枠が入ることになると思う。したがって、B-2の三つ目の丸は、かたどった時にはギリギリのところに含まれるのではないか。

委員

A案よりもB案、C案に目がとまったが、B-1・B-2とC-1・C-2を見比べると、B案のほうに目が行く。ただ、C-1とC-2のように書かれていないので、まだしっかりとしたイメージがわからない。そのため、どのようになるのかももう少し知りたい。

委員

Bの丸の部分が桜の花びらにならないのかなと思う。

委員

難しい。ちょっと分かりかねる。

委員

全体のイメージがよく分からない。デザインの寸法はないのか。この写真の大きさそのままなのか、どのぐらいの大きさになるのか。

委員長

寸法について、事務局のほうで考えはあるか。

事務局

具体的に何センチ×何センチと決めているわけではない。用途に応じて拡大する、縮小するというレベルの話になるかと思う。

委員長

一通りご意見を伺った中ではB案を支持する声が一番多く、次にC案であった。事務局に確認だが、B案、C案のどちらかに絞込みをしたほうが良いのか。

事務局

できればB案ならB案、C案ならC案で合意をいただき、細部については両校と調整を図りながらデザイナーと詰めていきたい。使う場面によってどのような形になるのかなかなかイメージしにくい部分もあるが、それをすべて推進委員会で諮っていくわけにいけないので、方向性を出していただき、併せてこのような形ができないかというご意見を委員の皆様からいただき、そういったものも含めて両校と調整して完成に持っていければと考えている。

委員長

意見をまとめると、B案を支持する声が多かったかを感じる。細部にわたるいろいろなバリエーションやサイズなどについては、今後、学校と調整していただくことになるが、推進委員会の協議ではB案が望ましいということで良いか。

本日決めた統一校章候補をもとに学校と調整のうえ、統一校章を決めていただくこととしたいが、この方向で良ければ拍手をもって承認いただきたい。

〔一同拍手〕

ありがとうございました。

次に第16回以降の開催日時について、事務局から説明をお願いする。

事務局

今後のスケジュール（案）を作成したので、日程の調整をお願いしたい。

委員長

本日の案件については終了したが、全般にわたって何か言い漏らしたことがあれば発言いただきたい。

委員

前回、玄関に紺とグレーの標準服が並んでいた。アンケートを取ったのではないかと思うが、どのような様子だったのか教えてほしい。

委員

標準服検討委員会のアンケート結果をもとにして一定の方向性がまとまり、事務局で集約している。次回の推進委員会でその検討結果を書面で報告する予定である。

次回、サンプルを持ってきて、詳しく説明させていただく。

委員

とてもかわいかったのでイメージがすごく膨らんだ。

委員長

全体を通してほかに発言はないか。

最後に、次回の案件および開催日時について、事務局から説明をお願いします。

事務局

夏季休業明けまで、大泉学園桜小学校・桜中学校の児童・生徒に小中一貫教育校の統一校歌に入れたい言葉を募集し、現在その集計作業をしている。その集計結果を次回の推進委員会に出させていただき、どのような形で校歌を決めていくのかについて検討いただきたい。それから、資料作成委員会の四つの柱についての検討結果を報告する予定である。

また、この夏季休業期間中も含めて大泉学園桜小学校・桜中学校の全教職員が来年4月の開校に向けて、連絡会を作り大泉桜学園の開校準備を進めている。その経過報告をしていただこうと考えている。さらに、標準服の関係も併せて説明する予定である。

委員長

第15回推進委員会は、平成22年9月10日（金）の午前10時から、大泉学園桜中学校2階会議室で行う。開催通知は後日お送りする。以上で第14回小中一貫教育校推進委員会を終了する。